

令和2年度 山形森林管理署最上支署公共工事契約状況

令和3年1月6日

分任支出負担行為担当官  
山形森林管理署最上支署長 加藤 真



| 工事名          |              | 施工場所                        |  | 工事種別                                    | 工事概要      | 入札方式                           |
|--------------|--------------|-----------------------------|--|---|-----------|--------------------------------|
| 角川地区治山工事     |              | 山形県最上郡戸沢村大字角川字十二沢山国有林2248林班 |  | 治山工事                                    | 鋼製棒土留工 3基 | 一般競争入札(総合評価)<br>施工体制確認型<br>簡易型 |
| 予定価格(税抜)     | 調査基準価格(税抜)   | 契約年月日                       |  | 契約相手方の商号又は名称及び住所                        |           |                                |
| 金84,646,000円 | 金74,986,500円 | 令和2年6月22日                   |  | 秋保建設 株式会社代表取締役 秋保 明<br>山形県最上郡戸沢村大字古口332 |           |                                |
| 契約金額(税抜)     | 工事着手の時期      | 工事完成の時期                     |  |   |           |                                |
| 金82,700,000円 | 令和2年6月23日    | 令和3年1月8日                    |  |   |           |                                |

変更契約年月日      第一次変更      令和03年01月06日

変更契約金額(税抜)      第一次変更      85,100,000円

変更理由      第一次変更      別添変更理由書のとおり

# 変更理由書

## ○ No. 2鋼製砕土留工

・各工種の数量について

現地を精査した結果、下記のとおり各工種の数量を変更する。

①掘削積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土

②山腹工 地山+ルーズ 礫質土

③埋戻（転圧有り）山腹工 BH-0.60m<sup>3</sup>

## ○ No. 3鋼製砕土留工

・各工種の数量について

現地を精査した結果、下記のとおり各工種の数量を変更する。

①吸出防止材布設 建込み・巻込み等

②山腹工 地山+ルーズ 礫質土

## ○ No. 4鋼製砕土留工

・各工種の数量について

現地を精査した結果、下記のとおり各工種の数量を変更する。

①吸出防止材布設 建込み・巻込み等

②掘削積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土

③山腹工 地山+ルーズ 礫質土

④埋戻（転圧有り）山腹工 BH-0.60m<sup>3</sup>

## ○ 山腹工について

・各工種の数量について

現地を精査した結果、下記のとおり各工種の数量を変更する。

①生コンクリート ②集水樹基礎工

③ルーズ積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土

④コルゲートフリーウム水路工 ⑤面並べ緑化土のう

⑥U字フリーウム切断 ⑦ハリシバ伏工 ⑧緑化マット伏工

⑨暗渠据付 ⑩掘削積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土

⑪山腹工 地山+ルーズ 礫質土 ⑫埋戻（転圧有り）山腹工

⑬盛土法面整形 ⑭人力切土面整形 ⑮丸太筋工

・植生マット伏工について

斜面掘削中に岩盤が露出したため、植生マット伏工（岩盤用）を追加する。

・盛土材料運搬について

斜面切盛り作業中、盛土材料が不足になったため、昨年度の残土処理場から運搬することとした。

○ 仮設工について

・敷鉄板について

現地状況に合わせて数量を変更する。

・残土運搬について

昨年度施工した残土を斜面に運搬する計画でしたが、盛土材料が不足となったため、数量を0とする。

・大型土のう撤去及び廃プラスチック処分について

昨年度設置した大型土のうを撤去し、それに伴う廃プラスチック処分を追加する

・地盤改良材について

No.2 鋼製枠土留の基礎が不足のため、軟弱盛土材料にセメント系固化材を使用して基礎を確保する。

○ 共通仮設費について

・運搬費について

現地状況に合わせて数量を変更する。

・安全費について

自記雨量計による気象観測について、実観測日数に変更する。

・営繕費について

快適トイレについて、設置費用を新規追加する。